

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室次長。国立国際医療研究センター(NCGM)にて小児科研修後、JICA のフィリピン母子保健・家族計画プロジェクト専門家として途上国の現場経験を経て、厚労省、地方自治体、WHO にて主に感染症対策に携わる。

2015 年より WHO 事務局長補として G7, G20, 国連総会の首脳級会合に保健議題を上程する役割を担うとともに、AMR 特別代表として AMR をグローバルヘルスの中心課題の一つとして上程した。

2018 年から国立国際医療研究センター(NCGM)企画戦略局長を経て、今年夏より現職。東京大学保健学修士、ハーバード大学公衆衛生学修士、帝京大学博士(公衆衛生)。